

6月15日1978・No.6

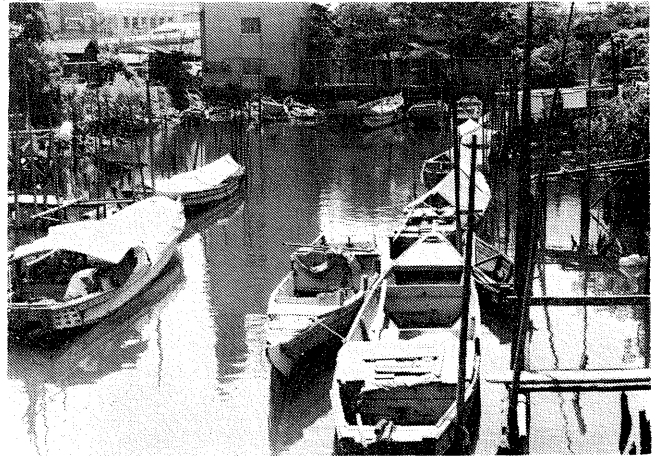
京橋の印刷

発行所
 東京都印刷工業組合
 京橋支部
 〒104 東京都中央区新富 1-16-8
 日本印刷会館3F 電話 552-1855
 印刷所 八千代印刷株式会社



この五世川柳の句碑が佃の住吉神社の境内に、地元有志の尽力に依って建立されたのはつい此の間のように思うが、もう十年余り前の事になる。

此の句碑建立にあたって、五世川柳の作句の中からこの句を選び、揮毫されたのは古川柳研究家の富士野鞍馬氏で、碑面の撰文は私達仲間の川柳長屋連の大木笛我君によったものである。除幕式の当日は住吉神社の広間に於いて、建碑記念川柳大会を開催したが、多数の川柳家が参加し盛大に行われた。その準備のお骨折りは地元佃の高橋さんざ氏と落語の桂枝太郎師匠だった。



私は小学生の頃、友達とよく渡船に乗って佃島へ、それから相生橋へと遊び廻った楽しい思い出がある。その頃の佃島の青い水面は静かに波を立て多数漁船が繫がれた漁師町だった。佃島は関東大震災の際も、あの二〇年三月一〇日の空襲にも災害を免がれている。それ故に佃の町並は昔の傍げが今日でも残って居るので映画のロケーションの場所によくなるようである。後一ヶ月ほどするとお盆が来る、あの佃の盆踊りの太鼓の音が夜風に乘ってこっち河岸(鉄砲洲)まで聞えて来るが、この夏の風物詩は佃島だからこそ続いているのだと私は思う。

支部顧問 荻野義博
 (川柳人協会々長・川柳長屋連差配)

巻頭一言

国の事業年度の関係もあって、五月は総会が多い。当支部のように四月七日に総会が開催出来ることは異例に属する。日頃から整備されているからに他ならないが、今一つ重要なことは、支部伝統の和の精神が脈々と受けつがれていることによる。十人十色一人一人が理屈をこねていてはきりが無い。つまり諦めではない悟りの精神が、この種同業組合の運営には不可欠の要件といてよい。常日頃から親しくうちつけた付合の中からそうした気運も生まれる。いくつかの総会風景を見聞しての所感である。

目次

| | |
|------------------------|----|
| 表紙(五世川柳句碑) | 1 |
| 顧問・相談・参与の会 | 2 |
| 地区長・幹事合同役員会 随筆「八親会」 | 4 |
| 総代会に思う | 6 |
| 新地区長紹介 | |
| 銀座地区長 森山 哲雄さん | 6 |
| 入船地区長 小栗 忠昭さん | 7 |
| 新川地区長 田島 一弥さん | 8 |
| 地区だより:京橋・新川・湊 | 9 |
| 支部の動き | 10 |

支部基本方針強化推進のため

二つの初会議開催される

顧問、相談役、参与の会 新たに顧問に五氏を推せん



所を設けていた。参集された方々は受付でそれぞれ会費を納めて指定された席に着席され開会を待たれていた。

去る五月一七日(水)午後五時より新富の躍金楼で、京橋支部昭和五三年度の「顧問、相談役、参与の会」の初会合が開かれた。会場入口には篠倉会計担当副支部長と支部若本書記が受付係として関

去る五月一七日(水)午後五時より新富の躍金楼で、京橋支部昭和五三年度の「顧問、相談役、参与の会」の初会合が開かれた。会場入口には篠倉会計担当副支部長と支部若本書記が受付係として関

氏を新たに支部顧問にご推せんする提案が、小宮山支部長よりなされ万場一致拍手をもって承認された。

これにより支部顧問は正進社印刷株式会社・高橋与作氏、伊坂美術印刷株式会社・伊坂一夫氏、荻野印刷株式会社・荻野義博氏、先川印刷株式会社・先川道三氏を合せて九名となり、支部運営について助言と助力をお願いすることになった。

さて病氣静養中の高橋顧問が欠席され、伊坂・荻野両顧問よりそれぞれご挨拶をいただき、またこの四月に顧問・相談役会のご推せんで本部副理事長に就任された石沢氏、並びに久保田新常務理事よりご挨拶があり、花崎新顧問が皆様のご健康と今後の発展を祝して乾杯の音頭で一斉に杯があげられた。

当日は、むしむしとした陽気と会場の熱気でご出席の方々は文字通り開襟をひらいて、久し振りに寛いで歓談に花がさき、酒肴もはずみ気分よく時の経つのも忘れて、中村新顧問の中締めのもと全員が残られ、このような会合を年に二、三回は催してもらいたいと声がかかる有様で八時すぎ盛会裡に終了散会した。

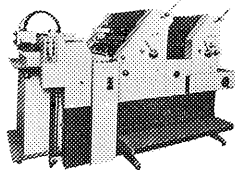
当面の問題等も審議

地区長・幹事の役員会

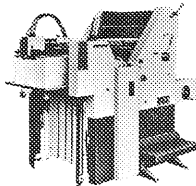
支部全役員が集う第一回役員会が、去る五月廿四日京橋会館で行われた。

定刻六時には、そろそろ暮れかかる高速度路を見下す七階会場に各地区の役員

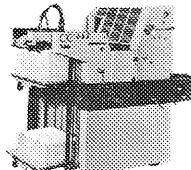
●AD-724 (菊半) (両面・2色)



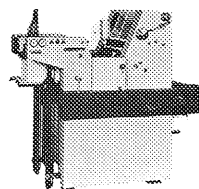
●AD-714 (菊半)



●AD-514 (B3ワイド)

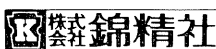


●AD-414 (B4)



ドミナントシリーズ

輸入発売元



〒101 東京都千代田区神田錦町3-15

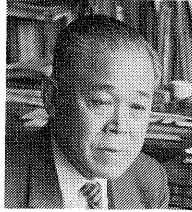
TEL (03)294-2918~9

が集い石曽根副支部長の司会で、まず小宮山支部長が支部の伝統にもとづいて誠に本部の事業施策を推進するが、支部の行政は組合員の一人一人の協力がなくては出来得ないので地区会合を活発にしていたが、支部執行部にどしどし提案しその意見をふまえて、本部行政の上で反映してゆくことが大切である。そのため地区の会合にも支部長はじめ執行部を呼んでいただき直接御意見も受けたい

本年度の本部基本方針は、(1)安定成長計画の拡充強化(2)料金適正化のための協調体制の確立(3)教育事業の普及推進(4)業界組織の拡充強化であって、支部としてこれをどう協力、推進してゆくかには種々と問題点もあらうかと思われるが、支部組合員の意見を「京橋の印刷」にも寄せていただき支部運営を進めたいと意向を表明された。

続いて執行部および地区長の自己紹介

東印工組京橋支部顧問



中 村 顧 問



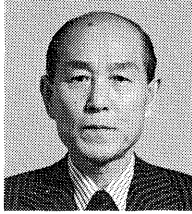
先 川 顧 問



高 橋 顧 問



白 橋 顧 問



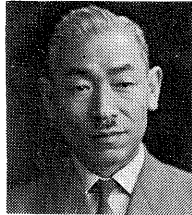
花 崎 顧 問



伊 坂 顧 問



斎 藤 顧 問



市 川 顧 問



荻 野 顧 問

を兼ねて、幹事の紹介があり、その後当面の提案事項が審議され可決された。

- ①各地区への執行部の訪問
- ②アウトサイダーの名簿作成と、組合への加入推進
- ③安定成長計画調査の回収
- ④新顧問に五氏を推薦
- ⑤工団連研修旅行への参加
- ⑥「京橋の印刷」の誌面拡充
- ⑦本部各種委員会への委員推選
- ⑧支部組合員名簿の作成と関連業界への広告依頼

なお支部の通達や支部報を綴るファイルが配られること、又現東印工組常務理事の久保田前支部長より支部ヘテーパーラーの贈呈があったことが拍手のうちで報告された。

引続き京橋支部より東印工組副理事長に就任された石沢氏が「本日総代会におきまして本部の方針が決まりました。組合は協力、協調が前提であり協力するということは組合事業に対して参加をする、利用することだと思えます。それには支部活動が一番大切で、地区活動に参加していただくことが本部事業の推進になり業界のプラスにつながる道であると存じます」と挨拶があった。

久保田前支部長の前期任期中の組合員各位への感謝の言葉に続き乾杯の発声が力強く行われ一同会食に入り懇談が続いた。



能登プロセス株式会社

東京都中央区日本橋蠣殻町1-25-7 ☎(667)5021(代)☎103

随筆

「八親会」(一)

久保田幸一郎

八親会の歴史は古い、一昨年二五周年の記念式典と晩さん会を催したから今年に創立以来二七年目となる。そして八親会の名称をご存知の組合員の方は勿論多勢おられるし、関連業界や地域住民にもその名を知っている人は多勢いるはずだ。さて、八親会とは何か、ということになるが一口で言えば八丁堀地区組合員有志で構成されている親睦団体である、と言える。

その昔八丁堀地区は京橋支部第八区ということで今の地区長を区長と呼んでいたそんなとき、白橋区長(現白橋印刷会長)さんは口ぐせのように「八丁堀村は八丁堀村で皆で気を合せて仲良くやりましょう」と言っておられた。

何故かその言葉が私の脳裏に強く印象付けられた。そして白橋区長さんは任期満了で幹事の私に区長をお譲りになって伊坂支部長のもと、先川副支部長の後任

として副支部長にご就任になったのが昭和二七年だったと思う。

その後私は、どのようにしたら八丁堀村は仲よく出来るだろうかと、余り利口でない頭を絞ってはみたが仲々良案が出なかった、そこで再び白橋さんにどんなことをすればよいかとお尋ねしたら、「免に角組合員をふやしましょう、私も一緒に回ってもよい、そして将来何にしてもよいから皆で貯金でもしようではありませんか、何んとか骨を折ってもらいたい」とのことでした。

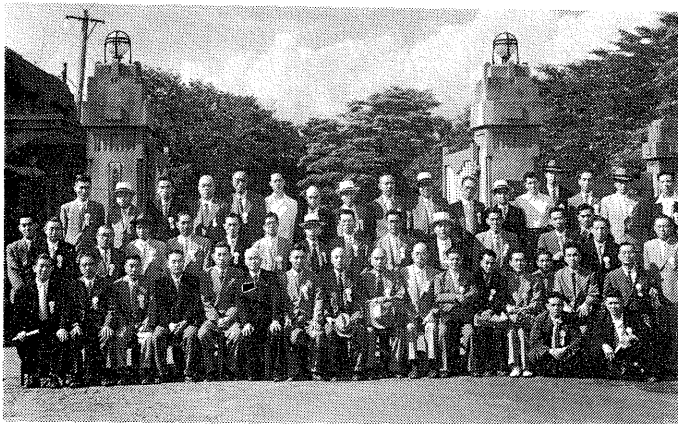
私もまだ三三才位のときで血の気の多い方だったので早速組合員の拡充運動をした。未加入者の事業所へ単身乗り込んでいったり、今は亡き明文社の村上さんや三鷹印刷の山崎さんをわずらわして勧誘をした。中には面倒なことをいう者もいたが、大概は入会してもらえた、人間同志、ぶっかいていけばこちらの気持は解って貰えることが初めて知ったのもこの時だった。

そして二ツ三ツあった案のうち、山崎さんが提案した八親会が当選して直ちに命名され、地区組合員有志での親睦会として発足したのである。地区組合員は三十名位でその内八親会は当初確か一四名であったと記憶している。

白橋さんのお言葉で会長は区長が兼任せよということ、図らずも初

代会長に就任し先づ会員を説得して貯金をすることにした。

相手先を市中銀行や取引銀行に申込んだみたが何れも話をとりあってくれる銀行がなく困っていたところへ、当時製本組合からの紹介で銀民銀行の営業員であった今は亡き佃さんと会わされた。色々経緯や将来の予想や希望を話したところ早速同銀行の御徒町支店へ同行して取敢ず定期積金をすることにした。その当時は掛金を半年以上続けると額面額を借入れることが出来たので、先づは小口融資



京友会・本州製紙正門前で整列記念撮影

待望の万能機 LSI制御

PAVO-JP

新製品

●すべての操作をボタンとテンキーで行なえます。その他、「新つめ組み機能」やミスタッチが分かる「エラー一警報装置」等、数々の新機能を搭載した。今話題集中の万能機です。



株式会社
写研

東京都豊島区南大塚 2-26-13 (03) 942-2211

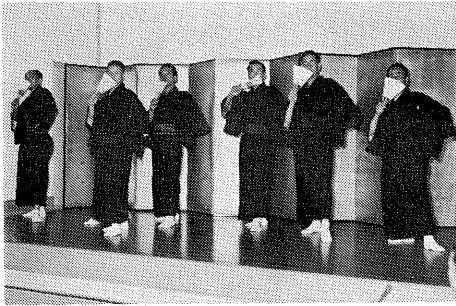
を思いついたのである。

この思いつきは会員の好評を得たのである。そして第一回目の満期をまたずに発足以来一年半にして第二回目(B会)を全会員で発足させたのであり、現在でも一年半毎に満期となりP会が満期になりR会が発足したのが今年二月だったのである。また時節柄一口十万円だったので前回から一口二〇万円に増額し満期で更新となる度に口数が増えていくのも会員の理解を得られている証であるとも考え心強い限りである。平素はこの積金を利用して商手の割引や単名貸付を行って、利息をプールしておき満期時に口数に応じて配当も行って会員の人気の的となっている。また今まで融資をうけながら倒産廃業した会員も数社あったが、連帯責任ということであり、時の会長の時機を得た処置のため、現在に至る間、実損らしいものは一件もないが、会長の陰のご苦労は大変なものと思ふものと思うが、むしろ不思議なくらいである。

この貯金会の発足と時を同じくして一年に一回の旅行会を思い立ってこれも早速実行に移し、毎月幾何かの積立をして一泊旅行を楽しみ、伊豆方面或は日光方面は東山温泉や蒲郡へと足を延ばしたのも屢々だ。このようにして和氣霽々のうちに旅行会も今では二十回目位になるのではなからうか。親睦のため今でも定期的に行っていて、来る六月三、四日の土曜日曜を利用して御前崎で一泊のバス旅

行が予定されている。

また以上のような一泊旅行にあき足りない方々のために「東京経営技術研究会」と銘打って、これも毎月幾何かの積立をして年一回三泊四日、或は四泊五日の国内旅行を有志で行っている。既に二十回位にはなるだろう、日本中大概のところは研究会の足跡がついているはずである。裏磐梯や紀州旅行に始まり、九州には前後して四回、北海道にも二、三回は渡っており、陸中、北陸、山陰、山陽は一通り行き四国には二回、羽田空港からフレンドシップに塔乗して秋田空港へ向けて飛び立って大変な悪気流の中をようやく乗り切って秋田空港の上空まで着いたが、折からの暴風雨で着陸できずに引返し、往路より以上に激しい悪気流のため命からがら羽田空港まで来たが、羽



新年臨時総会の舞台 (昭和30年頃) 左から半田, 白橋, 児玉, 久保田, 村上, 山崎の各氏

田も既に暴風雨圏内にあつて中々着陸出来ず、ほんとに生きている心地すらなかつた苦い体験をしたのが強力に印象付けられている。一ヶ月程後に改めて汽車に振替えて秋田へ出直して十和田湖、今NHKのドラマでやっている八甲田山、そして青森から浅虫温泉の旅も特に楽しかったので記憶に残っている。素朴な東北の人情の温かさに直接触れたような楽しい思い出が同行者全員の胸の中に残っていることと思う。

話はわき道に外れるが今年五月十一から十五日まで四泊五日で有志十五名で再び山陰旅行をする予定になっていて、京都まで新幹線で京都から貸切DXバスで皆生温泉を始め各所を見学観光して、宇部空港から飛行機で帰京することになっている。何れ機会があれば記行を綴り貴眼を冴すことになるかも知れない。

次にこの研究会と恰も時を同じくして、第八区会の有志が白橋会長(当時社長)のご先導で日本舞踊のけいこを一緒に二年ほど続けたが、何日だったか忘れてたが、教えてもらっている師匠は若柳流でその師匠の話で仙台の舞台を踏むことになり、一生懸命練習をして仙台の公民館と思うが、多勢の観衆の前でドサ廻りよろしく初舞台に出演したこともあった。昭和三十一年頃のお話である。

随筆八親会を楽しく読ませて頂きます。誌面の都合で二回に分けて掲載します。

日本を代表するインキ

TOYO KING

ULTRA70



東洋インキ

ここに鮮やかな一枚
ノーカーボン紙
レジシ CCP

十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-11(新有楽町ビル)
TEL. 東京(03)211-7311

「総代会に思う」

銀座地区 瀬戸 恭平

去る五月二十四日、経団連会館に於いて開催された、昭和五三年度通常総代会に出席した。

既に業界紙等で報道された通り、当日

新地区長の横顔

銀座地区長 森山哲雄さん

銀座地区の組合員二五社のはじめの地区長選挙で選ばれたのが、森山哲雄氏である。先代の新一郎氏が、関東大震災の直後大正十二年十月に創立した一誠堂森山印刷所の二代目社長として社業発展の中心となっている。

昭和五年生れで、業界では若手の仲間ではあるが、戦後の復興期に亡き先代と会社の再興に努力して今日の基礎を固めたキャリアーは、高く評価されている。



地区二世会 (銀座会)でもすでに幹事長をつとめ、前期は地区幹事として清新

の総代会は、墨田支部、文京支部の総代が、審議途中で退席するなど、形通りジャンジャンという様に進行しなかったわけであるが、免にも角にも、本部提案の原案が賛成多数で可決され、今年度の事業計画、収支予算、及び賦課金の値上げが決まったわけである。

当日の本部提出の六議案のうち、特に問題となったのは、経費の賦課徴収方法の変更(値上)に関する件であって、こ

の児玉区長を補佐し、その明るく温厚な人柄が今期の地区長としての信望を一層厚いものとしている。

会社には良きパートナーの弟さんが専務として活躍され、家庭ではなかなか奥様はじめ二男一女の良きパパであり、御長男は経営学科に学ぶ大学生と思われている。

友人達の間でも、なんでも相談できる人徳ある人と「仏の哲ちゃん」の愛称をもっているが、好きなゴルフは、「教え魔」的傾向が強く、コースで教えを受けてメモメモのスコアになった人もいるとか。

お酒は少々だが、酔うほどに粋な文句のひとつしや、歌舞伎の声色がとび出して、心の開けた付き合いのできる木挽町育ちである。

(長島)

さに対する京橋支部としての対処方針については、既に地区長より報告されて居たが、他支部の動向については、全く知る立場に居なかったため、当日になって墨田支部などから反対の意見が出るらしいことを教えられたが、総代会がどの様に展開されるのかは、全く予想することが出来なかった。

この総代会に先立ち、墨田支部から三項目、文京支部から九項目の質問事項が本部に出されて居ることが開会直後に明らかにされ、これについて審議と答弁を要求する発言があつて緊張のうちに幕が明けられた。

墨田支部の発言にはかなり総代会対策として、準備研究がなされて来たものを感じさせ、例えば決算報告にある。昭和五二年度の経営改善事業の収入を、当初三百万円と見積つたのに対し、実算が僅か一二パーセントの三六万円にしかならなかったのは、計画がずさんであり、当該委員長からこの間に事情について説明を要求する質問とか、事業者台帳が整備されて居ないのに賦課金を徴収するのは定款に違反するのではないかと指摘するなど、なる程と思わせる点もあった。

しかしながら一方、当日集まった委任状に収入印紙の貼って居ないものを無効とすべきだとか、明らかに審議の引き延ばしを図った質問も多く、又挙手をして質問を要求(むしろ強要)するのは殆んど同一人物であり、最初は緊張して居た

オフセットはハイデル

A3判単色、多色、多色両面機から、菊全判多色、多色両面機まで豊富な機種。

グラフィックアーツの総合商社
印刷機械貿易株式会社

本社 大阪府寝屋川市豊里町1番4号 TEL.0720(32)0441 千572
東京事業部 東京都品川区南大井3-21-4 TEL.(763)4141 千140

封筒をつくって50年
信頼と実績の



- JIS規格全種
- 事務用和洋封筒
- 様式事務用窓付封筒
- ダイレクトメール用窓付封筒
- 商品販売用・重信用紙袋
- エヤメール封筒
- レコード・ジャケット
- ペーパー・バッグ

封筒についてのご相談は
お電話どうぞ

本社 千104 東京都中央区A丁番2-2-7 電話(551)1151(代)
工場 千132 東京都江戸川区西瑞江4-21 電話(652)7721(代)

雰囲気も、時間がグラグラと経過するにつれて、散漫になって来て、退席者も目立つ様になって来た。

城西支部総代からの、既に充分審議をつくしたのだから採決をしたらどうかとの提案がなされ、墨田、文京両支部の総代は、採決強行に反対して退場したわけである。その後は、アツという間に本部提案議題が賛成多数で可決されてしま

い、いささかあと味の悪い幕切れとなつたのである。
せいぜい予定時間が二時間半程度しかとって居ない総代会では、中身の濃い討論を期待するのを無理としても、たしかに提案理由の説明だけでは、どうしても賦課金を値上げしなくてはならないという充分な説明がなされたとは思えないし、又反対する側の意見も、値上げしないでもやって行けるという建設的な提案も出されず、悪く云えば反対のための反対としかとれない面もあり、反対の質問で議場を独占し、時間引き延ばしをはかった上で、採決の際はサッサと退場する

やり方は、例え心情的には賦課金値上げに反対でも、感情的に同一歩調をとりたくいといったムードを会場に広げ、墨田、文京支部の総代は損な役割を引き受けただけの結果に終わったと思う。

せめて退場せず、反対の拳手をする等、最後迄議場に留まって居れば、多少は爽かな印象を残したであろうと、残念に思われる。

総代会がこの様に荒れたのは、珍らしいことだそうであるが、私としてはこの様なやりとりは決して悪いこととは思われず、お互いもっと充分な準備をして会議に臨み、内容のある討論が行われることが組合にとって望ましいと思う。

論が繰り返されることとなるであろう。又退場した墨田、文京両支部としても、今後の支部行政に於て、本部にどの様な姿勢で臨むかを表明しなければなるまい。

執行部サイドも今回の件をよい経験として、組合行政を更に充実し、組合員の信頼を厚くしなければ、毎年同じ様な議

各三三項目、九項目の質問に対して本部からの回答があった暁には、東印工組全組合員が納得の行く様な態度表明が期待される。

新地区長の構顔

入船地区長 小葉忠昭さん

（小葉忠昭印刷所と聞く）と戦前より当時新宿地区に在籍の安信舎と共に、官庁印刷物では名声を轟かしていたと、今でも聞く。



菅に何かを思う熱意の表われではないだろうか。地区長こそ組合員と直結し、

先代小葉政吉氏の後を継いで責任重大の大世帯を、あの切れる手腕と明解なる頭脳で切り廻わし、仕事も九月迄は満杯とかで益々業績も上昇とのこと
東印工組京橋支部の副支部長を二期勤め、支部長の声が掛るかと思っている人が多い中で、今度地区長を自分より買って出た人である。これも地区運

一番組合員の声を肌で感ずる事が出来、そく地区運営に又支部運営助言に――との表われであろうか。

入船地区の二世会では、今会長の存在であるが、会員の面倒見がよく、会員相互の親睦等で会を纏めている。

京橋支部では目下青年印刷人協議会の発足等があるが、彼こそその道では打ってつけの人だろう。労務問題も大変勉強家で、かつて業界紙を賑わした小葉印刷の労使間の争議も見事終止符を打ったのも、彼のもてる力量である。
PTAの会長、町会等誠に精力的に活動している人である。

彼の底の深さは仲々わからないが、それだけ掘れば掘る程新しい魅力が（アイディア）が出て来て業界が素晴らしい発展をしてくれるのではないかと待望されている。大いなる活躍を――。

(武村)



株式会社 山 櫻

東京都中央区築地 3-2-9

電話 542-8511 (大代)

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪/昭島

名刺・はがき・カード・封筒 etc

.....紙製品の総合メーカー



新地区長の横顔

新川地区長 田嶋一弥さん

株式会社印刷所の二代目社長さんである。御社は昭和五年三月先代社長長久男氏によって入舟町に創業され、戦後、現在地に移転、昭和五五年には創立五〇周年を迎えようとしている。

先代久男氏については今更云うまでもなく東印工組副理事長、印刷工業会理事、東京印刷厚生年金基金理事長の要職を歴任され、業界の発展の為に大いに活躍された方です。しかし病気の為、昭和五〇年一月急逝されました。



その後を継いだのが長男の一弥氏で昭和九年湊町に生れ、三二年慶応大学法学部を卒業と同時に久栄社に入社、営業、

製造、総務と全ての部門を回られ、三六年常務取締役、四〇年働セントラルプロセス社の社長に就任され、先代の亡くなられる数年前から実質的には社長としての業務にあたられていたわけである。

朝六時半には茅ヶ崎の自宅を出、八時には会社において各部署を見回るといふ日課は二〇数年来のものであり現在でも続けている。

現在印刷工業会監事として、教育研究部会に所属し、会報のPID編集にもたづさわっておられます。

家庭にあっては二人の男の子さんのよき、パパであり、趣味は囲碁、小唄、ゴルフと、多芸多才ぶりを発揮されています。会社、組合等毎日多忙な日々を過ごされておられますが、今後共、健康にも留意され、ますますの御健闘をお祈り致します。(佐々木)

中央厚生事業協組総会開催される

去る五月二三日(火)午後四時より、帝都信用金庫3Fにおいて、第一六回通常総会が開催され、この協同組合は通称給食センターとも呼ばれ、わが京橋支部の組合員にも昼食などの給食でお馴染みであり、また当執行部よりは、理事二名

を向出している、ご縁の深い組合である。当日は役員改選を含む13号議案が上程され、多数出席の組合員が熱心に審議され、円満に運営されて原案通り承認可決された。理事長には清水さんが再選され、当執行部からの理事には、聖文社印

刷の田島さん、小宮山印刷の小岩さんのご兩名が就任した。兩名の方には、毎月一回開催される理事会に出席され、給食内容全般の向上、改善に活躍して頂くことになっている。

当日来賓として出席した小宮山支部長は、次のようなお祝辞を述べた。

「給食事業は年々発展されて、本年は一五周年を迎えている。このお芽出度の年を期して給食内容の改善向上をふまえながら、事業的にも多様化時代に即応されんとする意気込みが、先程の五三年度事業計画案にもられており、関係者の一人として敬意を表すると共に益々のご発展を祈念する」

無事総会終了後祝宴に入り、宴半ばには、給食センター育ての母ともいえる、製本協組幹部ご夫人方による民謡なども披露され、午後八時近く中締めとなった。

因みに同組合の設立は昭和三八年で、京橋製本協組の有志の方々が、個々に行っていた従業員の食事の世話を一括し、ご夫人の食事の世話を仕事に向けて貰うという、企業の合理化、省力化の発想から生れたとの事である。

給食料金はこの四月一日に改訂されて一食二八〇円と、市価に比べてかなり割安であり、京橋支部としても、組合員各位が更にご利用されることをお勧め致します。

写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成(写植スクール)
- 版下マンの養成(フィニッシュワークスクール)

株式会社 モリサワ

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

いつも鮮やか KSK-プロイット

事務処理をスピードアップし、快適な作業環境をつくる、理想的な複写帳票用紙です。



神崎製紙

本社・関東営業部 東京都中央区銀座4-9-8 TEL 03(542)7211 関西営業部 尼崎市常光寺元町1-11 TEL 06(488)3211

地区だより

▼京橋地区 例会は五月一二日午後五時半から小宮山印刷株式会社四階の会議場で開催された、いつも全組合員出席をほこる当地区としては万やむをえない事情で二社の方が残念ながら欠席、議題は昭和五二年度会計報告、昭和五三年度の旅行実施の件、第一回支部執行部と地区長会の報告その他、定刻前区長小宮山氏が前年度会計報告書類を組合員に配付し詳細に報告全員拍子のうちに了承。これをもって前区長としての職責はめでたく御卒業誠に御苦勞様でした。

更にあらたまりまして新支部長として小宮山氏の力強い所信表明。

次に坂田新区長が挨拶に立ち小宮山氏が支部長に選出されたことを祝うと共に組合員の為に奮闘下さる様、御願申し上げた。第二の議事に入り旅行の先行、日程等につき協議二、三の候補地が出されたが話合のうえ奥三河天竜峡下りと決定、日程は九月九日、十日に満場一致拍手をもって決定。

次に支部執行部並びに地区長会の模様について詳細に報告された。

▼新川地区 例会、五月一二日(金曜日)午後六時より、京橋会館に於いて、第一回例会及び懇親会が組合員二八名の出席のもとに開かれた。

三恵工芸印刷土屋社長の司会により、



ご挨拶される新川・田島地区長

まず田島区長から、前年度事業方針の通り、地区員相互のより一層の親睦を計りたいので皆様の御支援を御願しいたどの挨拶があり、次いで、長老の伊坂社長及び小山副支部長より、業界の現況について、有意義なお話を頂戴した。

引き続き土屋社長より、五三年度事業計画案が提案された。内容は、納涼大会、釣大会等、組合の親睦を目的としたものであり特に、旅行会については五四年度に遠出を予定しているとの説明があった。

例会は約三〇分程で終り、六時三〇分より三好印刷社長の音頭により、懇親会へと入った。宴もたけなわ、石井印刷社長おはこの「木遣くづし」に始まり次々と自慢のどが披露され、七時三〇分、朝川印刷社長の中じめの手拍子で、なかなかうちに懇親会を終えた。

▼湊地区 支部最大の組合員を擁する当湊地区は前区長森山道太郎氏の温厚円満なお人柄に惹かれて、毎回よい雰囲気

中に開かれておりました。

新執行部による第一回定例会は四月二九日、支部会議室にて午後六時半より定刻催され、新地区長より、支部の伝達事項の報告があり、安定成長計画を始めとする種々の事項について説明がなされ特に、「東京の印刷」五月一日号に掲載された「中小企業倒産防止共済」については、組合事務局よりの詳細な資料に基づく説明が行なわれました。

次に、御多忙な御予定をさいてご出席を戴いた小宮山支部長より御挨拶を賜り支部運営、賦課金の一部改訂、支部報の紙面充実、アウトサイダーの組合参加等々についての詳細なお話を伺い、大いに啓蒙されるどころが多く、大方の賛同を得たことは幸であった。

森山前地区長の退任の御挨拶の後、ささやかな酒肴で乾杯、懇談に移った。少しばかりのアルコールではあったが、小宮山支部長をまじえて元支部長の荒川・池宮相談役、森山前区長、新保元区長を中心それぞれに話の花が咲いて、大分賑やかになったところで、地区前執行部が立案した秋の「出羽三山蔵王」旅行について、田村前幹事より日程その他についての説明があり、八月に予定されている下見の結果により、地区員の皆様にお知らせします。定刻八時になったが、談未だ尽きず三〇分の延長を決めたが、解散は決局八時四〇分となり、第一回の定例会は無事に終了しました。

四六四截オフセット オリバー 8

軽便・高速・重装備

580×440. 9000枚/時

姉妹機：オリバー 6 菊四截

桜井機械販売株式会社

〒135 東京都江東区福住 2-2-9

電話 (03) 643-1131

和・欧文 活字

材料 / テープ・メタルベース 他

インキ / 阪田 大日本 東京 東洋 各

和・欧文 各パンフレットあります



株式会社 京橋岩田母型

551 - 1380・2830・(店頭)2827

支部の動き

5月10日 京橋地区モリイチ会長森森市兵衛氏、春の叙勲で勲五勳瑞宝章を受賞された。(本部より通知)

5月11日 給食センター理事会 P m 3 : 00、出向理事出席(総会準備)

5月12日 京橋電気安全協会総会 P m 6 : 00、於・スエヒロ。支部長出席

5月17日 第一回支部長会 P m 3 : 00 ~ 6 : 00、於・本部 7 F

5月23日 京橋法人会総会 P m 3 : 00 於・スエヒロ。

給食センター総会、P m 4 : 00、於・帝都信用。新理事の田島、小岩両氏及び支部長出席。

5月24日 東印工組本部総代会、P m 1 : 00。於・経団連ビル 11 F。総代、理事出席。

緊急部長会 P m 5 : 00、於・京橋会館、本部各種委員選考。

地区長・幹事合同役員会、P m 6 : 00、於・京橋会館、役員五〇名出席。来賓として石沢副理事長、久保田常務理事。

5月29日 支部報編集会議。P m 12 : 00、於・支部会議室。

目崎印刷株式会社(新川地区)

目崎正勝社長ご令嬢のお目出た

目崎社長ご令嬢まさみさんは、四月二

日新緑うつくしい白金迎賓館に於て華やかな結婚式を挙行されました。

新郎は、慶応義塾・ポートランド州立

大学をご卒業され、現在三井物産株式会社鉄鋼貿易部に勤務されている加藤恭市君で素晴らしい好青年です。まれに見るお似合のカップルに拍手をおくりませう。

目崎社長ご夫妻には、うれしいやら二十余年大切に育てられたお嬢さんを手ばなされるそのご心境はご両親のみが知ることでございましょう。

どうかご夫妻にはこれから手をとってり合つて今一度新婚の気分楽しんで明るく健康に注意なされ幸福に活躍される事を心から願うものです。(K生)

株三秀社印刷所新社屋完成

社長 堀江 昌宏

同社は昨年十月着工され、四階建新社屋(延一五坪)として五月一日起めでたく完成されました。心からお祝い申し上げます。

堀江昌宏社長談

「大変な時期に建てることになりましたが、この様な厳しい時こそ将来の飛躍のために思い、また二代目として敢えて火中の栗を拾う気持で頑張りました。」

編集後記

▼本号表紙の「五世川柳句碑」について、もっとも知識の深い荻野義博顧問にお伺いした処、病後ご静養の大事な折に

もかわらず、快く短時間で寄稿をいただき、お蔭をもって本誌がより立派なものになりました。何時に変わらぬご芳情に恐縮しつつ、衷心から感謝し、ご健勝を祈念申し上げます。

▼地区だよりに組合員ご家族の結婚お祝のご投稿をいただきましたKさんありがとうございました。愛情と誠意のこもった文にお人柄が偲ばれ感謝します。(H・K)

▼「地区だより」によって各地区の会合の様子がいく分紹介されはじめた。支部運営に組合員の意向を反映させるチャンネルは先ず地区長さんから組合員の考えを聞かせていただくのが世論の動向を知る手段の一つである。組合員の多い地区では、特に意向をまとめるため班組織で運営されている地区もあるが支部員全体の意向を組合活動に反映させる力はこの「組合員の声」のチャンネル作りも必要なのでは。「京橋の印刷」に本音が現われてくること、それが正しく支部運営や本部活動に生きることが理想だというのは夢であるかも知れないが、少しでもお役に立てば幸いです。(N)

▼本号に掲載の「顧問・相談役・参事の会」、及び「役員会」の記事にのせる写真をとった積りでしたが、書記のミスにて、フィルム装填が不分の為、から撮りで一枚もとれませんでした、大変失礼を致しました。今後は充分注意致しますので何卒ご容赦下さい。(H・I)

◎取扱い品目

洋紙・板紙・和紙・産業用紙・紙製品

株式会社 鵬紙業

代表取締役 戸塚 浩二

- 本社 東京都中央区八重洲2-6-13 TEL (274) 2351 (代)
- 新宿店 東京都渋谷区初台2-1-1 TEL (379) 0271 (代)
- 練馬配送センター 東京都練馬区豊玉南2-18 TEL (994) 2731

トウのビジネス封筒

名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用洋封筒
 - 名刺用紙
 - 私製はがき
 - 招待状カード
 - マド付封筒
 - ROマド封筒
 - DM用封筒

株式会社 トウ エニパック

- 本社 東京都江東区永代1-2-1 電話 (642) 1141 (代表)
- 配送センター 東京都江東区永代1-1-7 電話 (643) 3237 (代表)
- 支店 城南(727)4141 本郷(643)7461 城西(994)5151 浅草(643)7851
- 橋本工場 橋本眼下都賀郡野木町友治 電話 02805 (5)2100 (代表)